

## Q1. 株式会社寿精密様の沿革と会社概要についてお話しください。

当社は1986年の3月に私の兄が大阪の河内長野で創業しました。半導体に使われる金型があるのですが、その消耗部品の製造からスタートしまして、今年で創業37年になります。それを経て1989年に和歌山の高野口町に移転してまいりまして、和歌山に来てから34年経ちました。そして1996年5月にかつらぎ町に移転してまいりまして27年になります。その間に日本では鹿児島に工場を作り、海外ではタイと中国に進出しました。それに伴って業務内容は拡大していきまして現在は主にスマートフォンや電気自動車に使われます電子部品やリチウムイオン電池の部品、あとは家庭用のガスセンサーに使われる部品の製造販売しております。現在はタイ、中国、日本を合わせて総従業員が約600名で、連結の売上高は前年度実績として70億円弱規模の会社となります。

## Q2. 生産から納品までを一貫して行う強みについて教えてください。

電池はいろいろなメーカーのラッピングがされ、販売されていますが、構成する様々な部品があります。それを1つずつ作るのに、まず金型を作ります。日本には金型を作る会社がたくさんあります。電池はすごく世の中に出ていますが、それを大量に作るための道具が金型です。また生産する工程が必要ですが、日本には量産する会社もたくさんあります。尚且つそれらの部品を使って組み立て・アセンブリーをする会社もあります。日本には各々に特化した会社がたくさんありますが、当社はそれを一貫して全て、開発から製造までできる人材と設備があるということが1つの強みになっています。

## Q3. 御社の企業理念、将来ビジョンについてお話しください。

基本的には社員を幸せにしたいという思いです。分かりやすく表現すると強い会社にしたいということです。売上を何百億にしたいとか、従業員を何千人も雇って大きな会社をしたいとか拡大路線を語られる経営者もいますが、そうではなく「強い会社=多くの利益を上げられる会社」にしたいと思っています。利益を上げることによって、さらなる投資をして成長し、その利益から従業員の給料ベースアップも可能にできる。また、福利厚生を充実していくことで社員のモチベーションが上がり、さらに生産性が上がって会社には利益が出るという高循環になっていく。利益が出なくなったらそのロジックが崩れてしまいます。会社経営で一番難しいところですが、とにかく利益をたくさん上げられる会社にしていこうと思っています。

#### Q4.「グローバル企業として成長していきたい」と言われていますが詳しく教えてください。

もちろん事業をしっかり軌道に乗せてやっていく必要があると思いますが、これからは全世界的な課題である脱炭素に向けて力を入れていく必要があります。我々企業も厳しい数値目標を持って努力していく必要があるのですが、本業もあり大変なところはあるのですが、若い人達が安心して生活できる環境を残していくというのが我々の使命でもあります。要は経営資源です。微々たるものですが、うちにある人・物・お金を使って前向きに取り組んでいこうと思っています。まずは、どれだけ寿精密の中で CO<sub>2</sub> を排出しているか状況の把握から進めて、来年、さらに 10 年後という長期的な形で CO<sub>2</sub> を削減していくことが企業のテーマにもなります。グローバル企業と認められるには、2 軸両方をやっていかなければならないと思います。

#### Q5. 社員の幸せのために工夫していることは何ですか。

経営者としては常に考えることです。社員はなぜうちの会社に働きに来ているのかと考えた時に、一番の目的は生活の為だと思います。1 円でも 2 円でもたくさん給料をもらいたいというのが本音だと思うのですが、それを実現することが一番分かりやすいと。それには単純に利益を上げないと達成できない。どの会社もそれで苦勞するのですが、達成しないと本当に社員を幸せにできない。会社は成長しなければならないのでお金を使います。新しい工場ができて 6、7 年くらいになるのですが、去年も作りました。稼いだ利益を社員の給料のベースアップに使うほか、さらなる成長のために設備投資する。結局、何をしても会社は利益を上げなければ何も進まないんです。そこに一番重きを置くべきというのが簡単で分かりやすいでしょう。

